



2学期終業式の代表作文紹介

2学期を振り返って

5年 工藤 楓 さん

私たち5年生は、5月からお米の学習をしてきました。2学期は大きくなったお米の観察から始まりました。翔太さんのおじいちゃんの稲をよく見ると、米の先に小さな白いものがついていました。お米の花でした。とても小さくてかわいかったです。私の家でもお米を育てていますが、花を見たのは初めてでした。自分たちの田んぼの稲はとも大きくなり色が変わっていました。お米も実っていて先が重たくなり、少し曲がっていました。夏休みの間にとっても大きくなっていてびっくりしました。2学期は古城さんが刈ってくださった草を捨てたり稲の間の草を抜いたりしました。交代で水の世話もしました。

10月5日には待ちに待った稲刈りがありました。昨年より上手に刈れてうれしかったです。楽しかったです。2週間ぐらい干した後に、脱こくをしました。初めての脱こくでわくわくしました。初めに「足踏み脱こく機」を使いました。手には稲を持ち、足で道具を回転させて脱こくしないといけないので大変でした。次は「千歯こき」を使って脱こくしました。たくさんの鉄の棒の間に、穂を通して脱こくしました。うまく引っかけられなくて難しかったです。最後に「とうみ」という道具で余計な茎や葉を飛ばしました。私たちは1時間くらいで少ししか脱こくしませんでした。残りの脱こくは古城さんと谷川さんが機械でしてくださいました。機械のない時代は全部手作業でしていたので大変だったんだろうなと思いました。

11月の終わりには橋本さんが精米をしてくださりたくさんのお米ができました。お米の販売に向けてみんなで準備しました。ポスターや販売の案内の手紙を書いたり、ふくろにはお米シールやチラシ、生産情報の入ったトレーサビリティを作ったりしました。そしてお米を量ってふくろにつめました。お米を落とさないように気を付けてふくろに入れました。袋のひもを結ぶのが難しかったけれど、だんだん上手になり友達にも教えてあげました。いろいろなことをするのはとても楽しかったです。

いよいよ朝市の販売です。私たちが来るのをたくさんの方々が見守っていてくださいました。最初はよいペースで売れましたが、風は吹くし寒かったのでお客さんが少なくなりました。だから大きな声で呼びかけをしたり、ポスターを持って道路の脇で呼びこみをしたりしました。たくさん買ってくださいくださった方もいらっしゃってうれしかったです。朝市が終わる15分前くらいに完売しました。私たちが育てた宮もち米が全部売れて本当にうれしかったです。

その後学校に帰ってもちをつきました。食べたもちはやわらかくて熱々でとてもおいしかったです。買ってくださいくださった方々も喜んでくださると思います。

お米の学習をして、お米作りにはいろいろな仕事があることが分かりました。たくさんの方々を手伝っていただいたのでおいしいお米ができました。うれしかったです。来年は祖父の米作りの手伝いをしたいです。

私は2学期に持久走をがんばりました。5年生女子での1位を目指し、愛弥さんに追いつけるようにがんばりました。夕方からある中学校での駅伝の練習もがんばったので1位を取れたし、30秒も速く走れたので、練習をがんばってよかったなと思いました。来年もがんばります。

3学期はピアノの練習と姿勢をよくすることをがんばりたいです。

ちょうせん

1年 白石 あおい さん

ぼくが2がっき1ばんちょうせんしたのは、かん字をおぼえることです。1がっきからかん字のがくしゅうがたのしみでした。しっているかん字をじゅうちょうにかいていました。2がっきになってかん字のれんしゅうがはじまりました。ドリルやしゅうくだいで正しくかくように気をつけました。

2がっきにならったかん字テストがありました。ぜったい100てんとるぞ、とおもいました。でも、とれませんでした。くやしかったけど、つぎががんばるぞ、とおもってれんしゅうをがんばりました。するとつぎのテストではなんと100てんでした。

100てんがとれたので、これからもまいにち100てんがとれるようになりたいです。3がっきならうかん字もたのしみです。

自分のことを振り返ったすばらしい作文です。葵さんは挑戦したい強い気持ちがよく伝わりました。楓さんはプレゼンテーションも入れたすばらしい発表でした。

次号は3学期始業式の代表作文を紹介します。